

二学期を振り返って

校長 神田 豊

二学期は一番長い期間であり、私は一年間の中でも一番の充実期と考えています。担任や担当教員は一学期の関係づくりを基に児童生徒としっかり向き合い、しかも長期間様々な活動を通して、児童生徒の身になる指導を積み重ねることができるからです。私は先生方に、この二学期を通して児童生徒が成長したところをたくさん見つけてほしいと話したところですが、保護者の皆様におかれましても、お子さんの成長した部分を見つけていただいて、お子さんをたくさん褒めていただければと思います。

さて、今学期は各学部ともに修学旅行がありました。本校では、学年の段階を経て、遠足や校外学習、そして、宿泊学習や修学旅行を設定しています。そして、これらは当日の活動だけでなく事前や事後の学習も行っています。特に修学旅行等の大きな行事においては、児童生徒が旅行行程に見通しをもって主体的に取り組めるようにするために、当日の活動を細分化して丁寧に行います。また、事後の活動は振り返りをしながら、「どんなことをしたのか」、「何が楽しかったのか」など、作文や絵等で児童生徒自身の表現力を高める学習も行います。私は、中学部と高等部の修学旅行に参加しましたが、生徒たちが目的意識を持ちながら修学旅行を楽しんでいる姿を多く見ることができました。また、交通機関の活用や様々な観光施設の見学、ホテルでの宿泊、小遣いでの買い物等、多種多様な経験は児童生徒の力につながったところでしょう。保護者の方々は少しの間であっても親元を離れることに不安を抱いたことと思いますが、修学旅行を終え元気に学校に戻ってきた姿を見て頼もしく思われたことと思います。

また、二学期は学校全体で取り組んだパワー祭りがありました。今年度も児童生徒たちが主体となって実行委員会を組織し、「ハッピー きずな 未来へGo!」のテーマを掲げて一学期から準備に取り組んできました。全校での集会を通して、テーマやテーマ曲の発表をしたり、高等部の生徒たちが中心になってパワー祭りの広報活動を行ったりしました。当日は、学年ごとに工夫された小学部のステージ発表や中学部、高等部の作業班を主体としたイベント広場など盛りだくさんの発表があり、多くの来校者でにぎわいました。毎年同じ活動ではありますが、私は、このパワー祭りの活動や、それに向けての準備、練習等とても大切な学習活動であると考えています。ステージ発表のセリフや動作の練習は表現力の向上につながります。たとえ短いセリフであってもくり返し練習する中で身につけ、大勢の前で演じる姿はとても立派です。イベント広場の作業製品の販売はそのことを目的に生徒達は製品作りに取り組んできました。また、販売や接待にかかわる態度や言葉を覚え、当日は実際にお客様とのやりとりを通して学習した内容を実践しました。保護者の方々はじめ多くの来校者から称賛してもらい、励ましの言葉をもらった児童生徒たちはとても輝いていたと思います。

この他にも様々な学習活動を通して成長し一段とたくましくなった児童生徒たちは学校の宝です。来学期は一年の締めくくりになります。学校はいつそう努力して参ります。

地域支援センターあいづより

「地域支援センターあいづ」の取り組み

今年度、教育支援部は「地域支援センターあいづ」として新たに動き出しました。会津地区の特別支援教育の実態や課題を把握し、センター的機能を充実させていきたいと考えて努力しているところです。今年度は下記の内容について取り組みました。

<校内支援>

- ・ ケース会議・支援会議の実施
- ・ 広報誌発行
保護者向け「笑顔のかけはし」
職員向け「未来へのかけはし」
- ・ 校内教育相談
- ・ ホッとサークル

<校外支援>

- ・ 出かける支援
教育相談
関係機関等が開催する研修会の支援
リーフレット配布、理解啓発
- ・ あそびの教室（未就学児対象）
- ・ 会津地区特別支援学校コーディネーター連絡会との連携
「会津の特別支援教育を語る会」
- ・ 各種会議参加
- ・ 検査器具等の貸し出し

あそびの教室



就学前の乳幼児と保護者の方を対象に、早期教育支援として年10回開催しています。毎回元気いっぱいの子供たちが参加しています。

ホッとサークル



在校生の保護者を対象に、学部別話し合いの場や、卒業生の保護者から卒業後の生活に向けてのアドバイスや現在の様子について話を聞く機会を設けています。今年度も参考になるお話をいただきました。



小学部より

育てた作物や自然素材を使って…

今年の2学期もいろいろな学級で、作物を育てたり、秋の時期に散策をしたりして自然に触れてきました。そこから発展した活動を紹介します。ある学級では、一生懸命世話をした作物の収穫後、自分たちで話し合って「カレー屋さん」を計画しました。オリジナルエプロンや看板、チケット等を作って準備をし、他学級のお客さんをお呼びでおいしい白菜カレーを振る舞いました。またある学級では、育てた朝顔のつるや拾ってきたどんぐりを使ってリース作りをしました。どんぐりを転がしながら行った色付けはとても楽しかったようです。それを飾りに利用して素敵なリースが完成しました。こうした活動の取り組みは、子ども達の心を育み、また一つ貴重な経験となりました。



中学部より

「校外での様々な取り組み」

<会津学鳳中学校との交流会>



小グループでの活動を中心に、2回の交流でかわりを深めたことで、「お互いのよさを知る」ことができました。

<1 学年 校外学習(磐梯青少年交流の家)>

オリエンテーリングやスポーツレクリエーションなどを行い、友達と協力して体験活動を行うことができました。



<3 学年 修学旅行(東京・千葉方面)>



新幹線や水上バス、東京ディズニーランドや葛西臨海水族園などで多くの経験を積み、また一つ成長した姿が見られました。

高等部より

「会津工業高校・会津農林高校との交流及び共同学習」

高等部では、今年度も2校の高校と交流及び共同学習を行いました。

作業学習の木工班の生徒11名は、9月8日、10月20日の2回会津工業建築インテリア科生徒12名と会津工業高校で折りたたみチェア作りの活動を行いました。1回目は初対面ということもあり緊張して教員が間をつなぐ役割を担う場面もありましたが、2回目は製作活動を通してお互いにコミュニケーションが図られ、共同学習を進めることができました。

作業学習の農芸班の生徒16名は、10月4日、11月1日の2回会津農林食品加工科生徒36名と会津農林高校でマドレーヌの製造・販売、うどん製造の活動を行いました。事前に高校生へ本校生についてのアンケートや農芸班の活動を映像で紹介したことにより、お互いのかかわり方やコミュニケーションの方法などを工夫し、製品の製造・販売などの共同学習を進めることができました。



パワー祭り 実行委員会 より

ハッピー きずな 未来へGO!

10月22日に「ハッピー きずな 未来へGO!」のテーマのもと、聾学校会津分校・会津養護学校合同文化祭「パワー祭り」が行われました。児童生徒実行委員会の児童生徒を中心に、夏休み前からダンスの練習や集会活動の企画、街頭宣伝等を行ってきました。パワー祭りの前日の「パワー祭りがんばろう会」では、今年を象徴するオリンピックの聖火点灯を思わせるような演出もあり、パワー祭りへの期待を一層盛り上げるものとなりました。当日は600名を超える多くの方々に来校いただき、日頃の学習の成果を存分に発揮する子ども達の様子を見ていただく良い機会となりました。たくさんの方々の支えがあり、子ども達の笑顔が輝く文化祭となりましたこと、大変感謝しております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

